ファールンダーファ
法輪大法
真善忍

MINGHUI INTERNATIONAL 明慧
オンライン版は20か国語対応 | JP.MINGHUI.ORG

コロナウイルス特別号

中国共産党が
世界を大混乱に陥れた手口とは

中国政府によるウイルスの隠蔽と世界への責任
パンデミックは避けられなかったのか
更なる災害を防ぐために出来ること
法輪功とは、健康と幸福への道

読者の皆様

多くのメディア同様、『MINGHUI INTERNATIONAL』が注目している問題は、私たちの日常生活に影響を与え続ける新型コロナウイルスの世界的流行です。しかし私たちは、政治的議論に惑わされることなく、世界的流行の根本的原因と、今回のような悲劇を二度と繰り返さないための教訓を追求していきます。

私たちとは

本誌は、中国で広く普及したため中国共産党に弾圧されている精神修養法「法輪功（ファールンゴン」の学習者が、知見と見解をまとめたものです。（詳細は19ページ）

20年以上にわたり中共の欺瞞に溢れた宣伝活動の標的にされたため、今コロナウイルス対策の中で展開されている当局の手口が、私達には明らかに分かっています。その手口とは、真実を語る人々を押さえつけ、当局に都合の良い逸話を繰り返し宣伝するために西洋メディアを巧みに操り、人権侵害と世界的流行の拡大における責任を逃れようと、世界のリーダーたちに圧力をかけることです。

「MINGHUI.ORG」は法輪功学習者によって設立された報道媒体であり、学習者のコミュニケーションの基盤となるものです。学習者達は21年間、迫害について毎日声を上げてきました。私たちは当局の活動について幅広い知識を得たため、世界的流行の対処において重要な決断が迫られる中、中共が使う、人を欺く手口を読者に知らせる責任を感じています。

新型コロナウイルス

中国共産党が世界的パンデミックの予兆を隠蔽した手口
安全を守るために出来ることとは？

第一章：中国政府によるウイルスの隠蔽と世界への責任

第二章：パンデミックは避けられなかったのか

第三章：更なる災害を防ぐために出来ること

法輪功とは：健康と幸福への道

隠蔽工作の経緯

12月1日
コロナウイルス患者が初めて確認され14名の医療従事者に感染。この症例がLancet誌に掲載される。

12月18日
武漢の海鮮市場に出入りする配送員に兆候が表れ、武漢中央病院で最初のコロナウイルス患者発症。

12月26−27日
検査の結果、武漢の海鮮市場の配送員に2003年に流行したSARSと81%の類似性のあるコロナウイルスの感染が認められる。遺伝子配列は中国医学科学院が開示。武漢中央病院は新型コロナウイルスの感染に関する通知を受け、隔離措置を勧告される。
武漢の海鮮市場の販売員と、ある家族3人に配送員と類似した肺炎の症状が認められる。この新たな症例は、武漢疾病予防管理センター(CDC)に報告される。医療従事者はマスクと防護服の着用を指示される。

12月28−29日
湖北省保健当局でさらに4人の患者が確認される。国家衛生健康委員会が武漢に調査員を送る。

12月30日
武漢市衛生健康委員会が「不明な肺炎」に関する緊急通知を出すが、世間を惑わせた。さらに医療施設や個人が許可なく情報を開示することを禁じる。
3人の医師(李文亮、劉文、謝琳)がウィーチャットでウイルス情報を開示。
李医師は同委員会に呼び出され、3人は調査・尋問され警告を受ける。

1月7日
緑内障患者の診察をした李文亮医師がコロナウイルスに感染。

1月5日
全ゲノム配列がウイルスはSARSと89.1%の類似性があると示す。上海公共衛生臨床センターが国家衛生健康委員会に内部報告書を提出。

1月3日
武漢当局が44症例を報告。
中国のニュースメディアがこの疾病は「予防と制御が可能」と主張。

1月2日
ウイルス情報を共有したことで、女性医師・艾芬が勤務先の病院から厳しい処分を受ける。

1月1日
8人の医師が感染の流行が起きているという「虚偽の噂」を広めたとして警察から処罰を受ける。警察は感染対策措置により、人への感染は起きないと発表。武漢の海鮮市場が閉鎖され、報道陣の立ち入りが禁止される。人民解放軍が感染状況を知ったが、民間人には知らされず。

12月31日
武漢市衛生健康委員会が肺炎について不正確な通知を再び発表。北京から医療専門家が武漢入りし、感染者の有無を判断する、3つの診断基準を作成。武漢の海鮮市場に関わったか、発熱の有無、全ゲノム配列の検証。これらの厳格な診断基準を設けても、多くのウイルス感染者が見過ごされた。

1月10日
上海公共衛生臨床センターは、1月5日に行った政府への報告の応答を得ないまま、ウイルスのゲノム配列をネット上に公開。結果、研究所は何の説明もないまま調査のために閉鎖される。
国営新華社通信が、死者や医療従事者の感染及びヒトからヒトへの感染は認められないと主張するSARS専門家の王海龍にインタビューを行う。王は国民に心配不要だと述べる。

1月13日
武漢市CDCは「不明な肺炎」症状のある患者と、他の病気の患者を分類するよう指示。
国外初の患者がタイで報告される。

1月14日
WHOがヒトからヒトへの感染が確認されたと発表。しかし後に、ヒトからヒトへの感染の証拠はないという中国当局の主張を引用する。

1月16日
武漢中央病院は、ヒトからヒトへの感染の確証はなく、この疾病は予防と治療が可能であると主張を続ける。

1月17日
インペリアル・カレッジ・ロンドンが1月12日時点の武漢市の感染者数は1,723人と予測する。
武漢市衛生健康委員会が累計感染者数は62人で、このウイルスは感染リスクが低いと主張する。
政府が武漢を封鎖するかもしれないという情報が流れ、逃げる準備をする住民もいた。

1月26日
コロナウイルス対策本部設立。プロパガンダを掲げ、公安当局を配置した。対策本部はすぐに医療関係者に対し、ウイルスに関する情報開示を禁止する規則を発令。違反者は3〜7年の服役に処されると警告した。

1月24日
中共指導者が演説を行うも、ウイルスの流行については触れなかった。
米国の新型コロナウイルス感染者数と季節性インフルエンザ感染者数を比較し、流行を軽視する中国のプロパガンダが始まる。

1月23日
武漢がロックダウンされ、国際線以外のすべての公共交通機関が止まる。ロックダウンまでの5日間で、数百万人の住民が武漢から離れた。

1月20日
中国当局が、ウイルスがヒトからヒトへ感染した証拠を認める。

1月19日
武漢文化観光局が、翌日20万人動員の大行事を行うと報道される。WHOが、拡散と起源について確定的結論を出すには、ウイルスの解明が不十分だと発表。

1月18日
武漢市全体の封鎖が囁かれ、ウイルスの感染拡大防止の対策が求められる中、住宅地「百歩亭」で地元の指導者ら4万世帯が食事を持ち寄る伝統行事を開催。後に百歩亭は流行感染が最も深刻な地域の一つになった。

1月27日
武漢当局と中央政府が、ウイルス流行の責任を押し付け合う。

1月28日
米国政府は、米国の医療専門家が、感染流行の対策援助のため中国に入国することを、北京政府が1月6日以来拒否してきたことを公表。

1月30日
中国の元保健省関係者が、武漢は治療のキャパを超える患者数を抱えており、公式発表の感染者数は大幅に過少報告されていると述べる。

1月31日
米国が公衆衛生緊急事態宣言を発令し、過去14日以内に中国を訪れた旅行者に14日間の隔離を要請。

2月6日
李文亮医師が新型コロナウイルス感染で死亡。このニュースがウェイボー(中国のSNS)で広く関心を集めたが、すぐに削除される。

2月8日
武漢病院で米国人が初めて新型コロナウイルス感染で死亡。

2月20日
国家衛生健康委員会は再び分類体系を変更し、(核酸検査とは対照的な)臨床的に確認されたウイルスの病例を含めないと決定。これにより新規感染者数が5分の1に減少する。

4月17日
武漢は感染死者数を50.02%追加し、2,579人から3,869人に訂正する。(8ページ「中共による悪質な数字操作」参照)

3月19日
中国当局は国内の新規感染者数はゼロと報告。新たな隠蔽を始める。

3月12日
中国外務省報道官は、米軍がウイルスを武漢に持ち込んだと非難。

3月11日
WHOがコロナウイルスのパンデミックの発生を宣言。

2月29日
米国で初の新型コロナウイルス感染者の死亡が報じられる。
公式発表の感染者数との矛盾を避けるため、チチハル第一病院が、医療専門家を含め100人以上の感染者がいることを隠蔽。

2月24日
北京が3月5日開催予定の2つの重要な政治会議を延期。しかし、国民には仕事に戻るように指示し、大衆の怒りをかう。

2月22日
黒竜江省保健委員会がウイルスサンプルの破棄とパンデミックに関する情報の制限を指示する。朝陽市の文書が翌日、これは全国的な政策であったと示す。

中国共産党
新型コロナ偽情報を世界に拡散

武漢のロックダウン後、他国で感染者数が増加したため、中国共産党は以下の3つの主要な目的を成し遂げるため宣伝戦略を変えました。

1. 国民の関心を国外のウイルス拡散に向ける
2. 中共の感染対策能力を誇示する
3. ウイルスは米国から持ち込まれたという偽情報を拡散し、米国に責任転嫁する

当局はこれらの戦略を実行するため次の手段を取りました。

国民を洗脳する

上海当局は政府政策の宣伝と国民のネット上の発言を監視するため、積極的な話題作りを命じられました。

2020年2月29日、中共の機関紙人民日報は、ウイルスを封じ込めたという中共の努力を称えるために、「私たちの生活は蜂蜜のように甘い」という特集記事を出しました。

3月6日の会議で、武漢の中共書記・王中林は、中共による流行の対処に感謝するよう、市民に「感謝教育」の実施を求めました。

3月4日、新華社通信は、中国はウイルスと戦い、多大な犠牲を払って世界のために時間稼ぎをしたと主張する社説を出しました。そして、米国による両国の国境閉鎖の決定を批判し、「米国は中国に謝罪すべきだ」「世界は中国に感謝すべきだ」と加えました。

ソーシャルメディアの利用

1月2月、中国外務省(MFA)はTwitterで、ウイルスとの戦いにおける中国の成功を称え、中国国民と医療従事者が払った犠牲を強調しました。感染流行の深刻さに触れたツイートはほとんどありませんでした。

2月20日以降のツイートでは、中国が流行の発生源であることよりも、医療用品の提供やウイルス対処の経験の共有など、中国がいかに他国に援助をしているかという内容に徐々に切り替わりました。

3月12日、WHOがパンデミックの発生を宣言してすぐの翌日、中国外務省報道官・趙立堅がTwitterで「武漢で感染流行を引き起こしたのは米軍の可能性がある。透明性を求める！ 情報を公開すべきだ！ 米国は我々に説明の義務がある」と発言しました。

インターネット検閲組織

中共には、政府に対する批判的なコメントを削除したり、党の方針を宣伝したりするために、インターネット評論員と検閲センサーを用いた組織があります。

3月、日本、フランス、内モンゴル、米国の所在のウィーチャットグループ内で噂が流れました。投稿者は一つのメッセージを複製して、国名だけを変えていました。

メッセージ内容:

「(国名)の流行感染はもはや手に負えていない。(国名)の病院で働いている友人から、毎日数えきれないほどの人々が病院に押し寄せていると聞いた。しかし、病院には検査キットがなく患者を家に帰すしかない。(国名)は高齢者が多いので、非常に多くの人々が自宅で死亡した。検査を受けていない場合、彼らは感染者数にカウントされていない。だから(国名)はこんなに感染率が低いままなんだ。なんて恐ろしいことだ。私は中国への帰国便をすでに予約した。危機的状況の中、私たちの力で大きな行動を起こす必要がある」

このような投稿を見た後、一時は片道航空券が法外価格で約250万ドルもしたにもかかわらず、多くの中国人が急いで帰国しました。しかし、中共が新たな感染源は、地域内での拡散ではなく、海外からの渡航者に起因するとし始めたため、帰国した人達が非難を浴びました。

マスク外交

2月、ウイルスの感染流行の深刻度を軽視する一方で、中共は各地域の医療用品を買い占めて中国に輸送するため、国外の留学生、団体、個人を総動員して他国から20億枚のマスクを輸入しました。

その翌月、ウイルスが猛威を振るって世界に広まると、中共は、中国が「武漢の経験をモデルにし、コロナウイルスと戦うために必要な医療用品と医療指導を提供している第三者」に見えるようストーリーを変えました。

一つの戦略宣伝として、中共はマスクや他の医療用品を輸出し始め、それと引き換えに各国のリーダーからの称賛を得ました。例えばイタリアの主要政党五つ星運動はソーシャルメディアに「友情と連携」というタイトルで、中国からの医療用品の輸送に対して感謝の意を投稿しました。

しかしこの投稿はほんの数分で削除されたのです。イタリア政府は後に、これらの医療用品は支払いを要求され、「援助」ではなかったと明らかにしました。

さらに、中国から輸出されたマスクや検査キットの大部分に欠陥があることが分かりました。(16ページ「中国依存の危険性」参照)

自己権力の誇張をするプロパガンダ本

2020年2月下旬、中共中央宣伝部と中央人民政府は『流行感染との闘い:2020年中国COVID19に立ち向かう』というタイトルの本を発行しました。

習近平の英雄的指導力の下、中共がどのように効果的に流行感染を制御し、対処したかを長々と称えたものです。英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、アラビア語版も急遽、発売されることになりました。イタリアの宗教社会学者マッシモ・イントロヴァーニャ氏は、「この本は中共の偽情報のサンプルだ」と述べました。

中共による悪質な数字操作

世界中の専門家が、中国当局が報告した新型コロナウイルス感染者数と死者数の精度に疑念を抱きました。死亡率を比較すると、ヨーロッパのほとんどの国では、死者数は10万人中20〜45人であるのに対し、中国の公式データによると、僅か0.33人でした。

武漢:公式データよりも高い死者数を示す

中共は3月25日時点における武漢市の新型コロナウイルス死者数を2,531人と報告しました。

24時間稼働の火葬場: 武漢にある7つの斎場には合計74の火葬炉があり、1月26日から2月21日までは毎日24時間稼働していたといいます。コロナウイルス以外の死因による平均死者数を除き、単純に許容量からすると、この27日間で44,253人以上のコロナウイルス死者数が算出されます。

何万もの骨壺: ラジオ局「ラジオ・フリー・アジア」によると、3月23日から、火葬炉のある7つの主要な斎場で、毎日500個の骨壺をコロナウイルスの遺族に配ったといいます。ある斎場は4月4日の伝統的年中行事、「清明祭」(お墓参り)までに遺灰を配り終えたかったと話しました。この13日間で、7つの斎場は45,500個の骨壺を配りました。

可動式火葬炉40機が武漢に運び込まれる: ある武漢市の住民は、可動式火葬炉が当局によって自宅軟禁を強いられた感染者の遺体の火葬に使われたと話しました。また別の住民によると、国中の斎場から武漢の斎場を手伝うために、職員がやってきたといいます。「可動式火葬を手伝った人もいた」「彼らは朝から晩まで懸命に働いた」と、その時の状況を説明しました。

統計異常による公式データへの不信感

1月30日〜2月6日までの合計死者数と合計感染者数の比率は2.1%のままです。

2月中旬時点の累計死者数は数理モデルにほぼ一致(決定係数R^2= 0.99)しており、数字は実際の死者数ではなく、公式から算出されたことを強く示唆しています。

新規感染者数がゼロと報告してから一か月以上経過した2020年4月17日、武漢の合計死者数は2,579人から3,869人(ほぼ50%増し)に上方修正されました。

各国の感染拡大曲線の統計分析では、中国が報告した日変動は、伝染病の蔓延を予期する指数増殖パターンを示しませんでした。

感染者数 過少報告の手口

1) 感染の症状がある患者を診察拒否

たとえ地元の病院が医療崩壊寸前でも、他の地域の病院では、発熱があっても診察をしてもらえない住民もいました。検査を受ける前に死亡した人もいました。

2) 感染者の受け入れ定数の設定と限られた検査キット

内部告発によると、全省で新規感染者数と死者数の定数が定められていました。定数に達するとそれ以上の感染者の報告は許されません。武漢当局も、地域のコミュニティーや病院への検査キットの配布を制限しました。

3) コロナ患者を他の疾患に分類

新型コロナウイルス患者の中には、一般的な肺炎として治療を受けた人もいます。3月中旬、中国政府が新規感染者数ゼロを報告してからは、一部の新型コロナウイルス患者(人工呼吸器の使用者も含む)は病院から退院させられ、別の病気の疾患者として再入院させられました。

4) 無症状患者はカウントしない

無症状患者でもウイルス感染のリスクがあることは知られていますが、中共は彼らを感染者数に含めませんでした。後の検査で陽性を示した人であっても、含めませんでした。

5)陽性診断基準の変更

2月だけで、中国当局は新型コロナウイルス感染の診断基準を3度も変更しました。2月12日、国家衛生健康委員会は、研究所の検査キットによる診断ではなく、CT検査により、ウイルスに感染をしていると臨床的に確認された人のみ、感染者としてカウントすると発表しました。その結果、前日の2,015人に対して15,000人の感染者数の報告が上がりました。一週間後、当局は診断基準を元に戻し、検査キットで感染が確認された者だけをカウントすると発表しました。すると、一日の新規感染者数は394人に減少しました。

6) ウイルスサンプルとデータの破棄

2020年1月、ゲノム配列の研究所のスタッフが武漢市衛生健康委員会から電話を受けました。新型コロナウイルスのサンプルの調査を停止し、これまでに受け取った全サンプルを破棄するように命じられました。承認なしにいかなるデータの公開も許されませんでした。

7)検査を受けていない患者の診察拒否

武漢市では、陽性検査のための仮設病院にCTスキャンや拡散検査の設備がなく、多くの新型コロナウイルス患者が見過ごされました。ある医師はこれを「医療回復」ではなく「政治回復」と呼びました。

8)政治的圧力

武漢市の市長・周先旺はテレビで、2020年1月27日にかつてない状況の中、武漢市は機密情報を公開する前に、北京政府からの指示を待たなければならなかったと述べました。多くの人々は、市長が責任を中央政府になすりつけようとしている姿を見ました。中共は公衆衛生よりも政局の安定を優先しているため、各階級の役人は保身のために隠蔽と過少報告を強いられました。

9) 医療スタッフと内部告発者の口止め

中共は内部告発者を口止めすると同時に、多くの医療スタッフや感染流行について内部事情を知る者に対し、機密保持同意書にサインをさせました。さらに、ウイルス情報を広めた医師は逮捕すると加えました。中国当局は1月22日〜28日の間に、「デマを流した」「混乱を招いた」「社会秩序を乱そうとした」として少なくとも住民325人を逮捕。彼らは留置、罰金、懲戒教育等の罰を受けました。武漢の女性刑務所でウイルスが拡散した時、情報漏洩を防ぐために看守の携帯電話が没収されました。

10) 国際調査の拒否

米国から繰り返し申し入れがあったにもかかわらず、中共は、ウイルスの発生起源の調査のために、国際組織の専門家や公衆衛生当局者が武漢入りすることを許しませんでした。ウイルスの漏洩元と疑われていた武漢ウイルス研究所に入れた他国の調査チームはいません。

11) メディア操作

中共はウイルスを抑え込んだというイメージを宣伝するために、国営メディアを利用しました。4月上旬、当局は記者300人を選定し、武漢市内の所定の場所に送り込みました。彼らの報道は新華社通信、China News、人民日報(すべて国営メディア)の方向性に則っています。彼らの最優先の任務は、流行感染が収束し、新規感染者は見つかっていないと世間を信じ込ませることです。

ロックダウン中の非人道的行為

自宅に置き去りの遺体

湖北省十堰市で2020年2月24日、ボランティアスタッフが体温チェックのため、ある家を訪問しました。すると6歳の男の子が出てきました。この家には自分と祖父の二人暮らしだといいます。スタッフが男の子に祖父と話がしたいと言うと、祖父は数日前に死んだと答えました。「おじいちゃんが外にはウイルスがあるから、家から出るなと言った」と男の子は言いました。

ボランティアスタッフは、風呂場で老人男性の遺体を見つけました。男の子はこの数日間、クラッカー以外何も食べていませんでした。もしこの日、ボランティアスタッフが訪問していなかったら、少年も祖父のように死んでいたかもしれません。

少年はボランティアスタッフに助けられましたが、湖北省では、発熱や感染者との接触により、強制的に家を追われ隔離施設に送られた住民がたくさんいます。別の省では、湖北省から帰ってきたばかりの住民がいると、当局が外出できないように家のドアを溶接しました。

見捨てられた患者

武漢市の住宅地「百歩亭」で、市全体がロックダウンされる前日の2020年1月18日、共産党員によって、4万世帯が食事を持ち寄る伝統的な大行事が開催されました。その後、複数人に新型コロナウイルス感染の症状が現れ始めると、当局は住民を見捨てました。

ある住民は、当局は検査キットを一日につき、4000世帯に対して一つしかくれない、とネット上に投稿しました。重病患者は助けを求めて駆けずり回りました。近隣の住宅地が医療用品や援助を受ける中、「百歩亭」の住民は何の援助も得られませんでした。

寄付された野菜を隠す

自宅で餓死する者が現れると、湖北省鄂州市当局は、貴州省から寄付された1000トンもの野菜を密かに隠しました。野菜はその後、市の役人や警察に与えられたり、市場で高値で売られたりしました。残りは倉庫で腐敗しました。

2月18日に投稿された動画では、鄂州市の警察官の妻が、政府から配給された無料のフルーツや野菜を見せびらかしていました。その家族は、妻の実家に3箱も分けられるほど多くの食料を与えられました。その妻はこう言い放ちました。「仕方がないの。すべて私たちが与えられたものだから。政府の役人と結婚しなかった自分を恨みなさい」

強制的な営業再開命令

2月中旬、感染流行が収まらない中、中央政府は経済の打撃を逃れるため営業再開を命令しました。

それから間もなく、北京、重慶、広東省、山東省でコロナウイルスの集団感染（クラスター）が報告されました。

中共はまた、従業員のウイルス感染が判明したり、隔離された場合のウイルス封じ込め準備金として、各企業に50万元（約710万円）を政府に預けることを義務づけました。

感染の疑いがある患者を自宅から強制的に引きずりだす当局

中共スタイルの災害給付金

中央政府が地方政府に消費活動の促進を指示すると、いくつかの市町村は、人々の給料の一部を「商品券」に変え、期日内に使用させました。浙江省杭州市では、政府は現金の代わりに、100元購入すると20元割引、200元購入すると35元割引、300元購入すると45元割引などのクーポン券を発行しました。割引を受けるには、最低でも100元分の買い物をしなければなりません。

武漢市民はパンデミックをどう見ているのか

文／中国武漢市の住民

武漢でウイルスが感染爆発すると、恐怖とパニックが市を襲いました。遺体を火葬場に搬送する労働者は、毎日働き詰めだったと言います。当時は一度に8体の遺体を積み込んでいました。

感染流行が勢いを増すと、道端で死亡する者もいました。家族間で感染し、数日で家族を複数人失った家庭もありました。

この悲惨な状況に直面し、これまでは中共を信じていた多くの人々の意識が変わりました。ある男性は、最初のうちはウェイボー（中国最大のSNS）で「つまらない噂を広めた」人々に対し、「国家と政党を信じないなら、一体あなたたちは何を信じるんだ?」と非難していました。それから間もなくして、彼の親せきが感染しました。しかし、病院に入院することが出来ませんでした。彼のその後の投稿は、助けを求める悲痛な叫びと、中共に向けられた恨みで埋め尽くされました。

パンデミックが起きていると危険を知らせたことで、当局に処罰された李文亮医師は、後に感染して死亡しました。多くのネット住民が若い医師の死を悼み当局を非難すると、ある学生が「李医師を殺したのはウイルスだ。私たちは落ち着いて当局に従うべきだ」と投稿しました。しかし彼は、大学に戻ると、自分の寮が何の事前通知もないまま新型コロナウイルス患者の療養施設に変わっていたことを知りました。

なぜ武漢は大打撃を受けたのか

武漢市は湖北省の省都で、省の政治、経済、文化、科学技術の中心地として機能しています。なぜこの地が感染流行の発生源になったのでしょうか?

現代医学がコロナウイルスに関する多くの謎に取り組んでいる中、「善悪には報いがある」と教える中国の伝統文化が、武漢の状況を知る手がかりを与えてくれるかもしれません。

法輪功への迫害

中共は歴史を通して、標的となるグループに対する憎悪を煽り立てる一連のプロパガンダを用いた政治運動を行ってきました。元中国共産党総書記・江沢民が法輪功に対する暴力的な弾圧に公然と乗り出す前、武漢で卑劣なプロパガンダ運動が計画されました。法輪功は中国現代史の中で最も悲惨な宗教的迫害を受けています。

当時の武漢市ラジオ・テレビ局長と武漢テレビ局長・趙致真は、「李洪志とは」という法輪功創設者に焦点を当てた6時間に及ぶ中傷番組を制作しました。この番組は、国民がこの平和的集団に反発するよう仕向け、弾圧支持層を獲得するために多数の局で放送されました。これはその後20年にわたって、法輪功に邪悪なイメージを植え付けるための膨大な数の番組制作の模範になりました。

2001年3月武漢にて、法輪功への迫害を強化するための全国会議が開催されると、湖北省と中国全土で迫害が悪化しました。

さらに、法輪功の弾圧の専門機関として、1999年6月10日に設立された超法規的機関「610弁公室」がかつて武漢で全国会議を開催しました。湖北省政府もまた武漢で610弁公室のための研修を行いました。さらに、湖北省の洗脳施設は全国モデル施設と名づけられ、法輪功学習者に対して使われた拷問の手口を全国の他の施設に広めました。

臓器狩りとの関係

武漢にある同済病院は、中共による法輪功学習者の強制臓器摘出に早期から関与していた医療施設の一つでした。この犯罪は2006年に初めて報じられ、複数の捜査機関によって裏付けられました。調査員により、同済病院で少なくとも14種類の臓器と組織が移植されたことが分かりました。中国には臓器提供システムがないにもかかわらず、2005年2月だけで、この病院で1,000件以上の腎臓移植が行われたのです。

これは、武漢で最初にウイルスが感染爆発したこととは関係がないように見えるかもしれません。しかし、私を含め多くの伝統的な中国文化を信じる人々は、武漢の法輪功迫害の役割と感染流行には関係があると考えます。

欺瞞と殺戮の歴史

当初から 「地上の楽園を築く」という大義名分のもと、中共は人々が伝統に反抗するよう仕向け、暴力をつかって「全人類を開放する」という名目の闘いを引き起こしました。中共が権力を握って以来、次々と流血の政治運動が始まり、その結果少なくとも8000万人の死者がでました。

写真: Gage Skidmore

「中国共産党は嘘をついた。今も嘘をついているし、これからもつき続けるだろう」
ベン・サッセ米国上院議員

農地改革 (1950−52年)

中共は農家の待遇を良くし、資本主義階級を保護すると約束した後、地主を身勝手に殺戮し、農地の再配分運動を始めました。「反革命家」の弾圧による公式死者数は240万人ですが、実際は少なくとも500万人の元政府役人、教師、地主らが殺害されました。

大躍進政策 (1958−60年)

鉄鋼生産を増やす中共の熱狂的な計画で、農民は農地を放棄することを余儀なくされました。当局は収穫量を不当に増大させ、3,000万人以上の餓死者が出ました。中には共食いに走る者さえいました。中共は、飢饉は「自然災害」に起因すると言いますが、この時期に深刻な異常は起きていません。

文化大革命 (1966−76年)

中国の伝統的な教えとその価値感に関するあらゆる痕跡を根絶しようと、中共は「政敵」と知識人に対して相次ぐ「暴力闘争」に乗り出しました。中共は膨大な数の歴史的遺物、書物、寺院を破壊するため、学生主体の紅衛兵を動員しました。彼らは両親や教師、年長者を糾弾し、殴打するように仕向けられました。大量虐殺と残酷な暴力により再び中国は荒廃し、数百万人もの死者が出ました。

天安門事件 (1989年6月4日)

民主主義を擁護する学生らによる、数か月後に及ぶ抗議運動と、官僚の腐敗の終焉の後、中共は彼らを「反革命主義者」と呼び、人民解放軍を送りこみました。兵士は非武装抗議者らを射殺し、戦車で押しつぶし、数千人を殺害しました。この事件の情報は、今でも中国で厳しく検閲されています。

法輪功の弾圧(1999年−現在)

法輪功の瞑想と精神修養が、1億人の学習者に普及し幅広い人気を得たため、中共は法輪功の撲滅運動に乗り出しました。それ以来、中国各地で数百万人以上の学習者が逮捕され、強制労働や拷問を受け、臓器まで強制摘出されました。この弾圧はパンデミックが感染爆発しても なお続いています。

中共はこれらの行動に責任を取るどころか、歴史を塗り替えようとし、党から恩恵を享受する人々に物質的利益を提供することで、人々が問題から目を背けるように仕向けました。新型コロナウイルスのパンデミックに直面し、中共は何百万人もの生活よりも、党のイメージを守ることを選択しました。ベン・サッセ米国上院議員は「中国共産党は嘘をついた。今も嘘をついているし、これからもつき続けるだろう」と結論付けました。

法輪功を学ぶ権利を訴え、天安門広場で「真善忍」と書いた横断幕を掲げる法輪功学習者たち

法輪功弾圧から21年間―今も続く迫害

中国共産党によると、1999年までに8000万〜1億人が法輪功を愛好し、その数は毎日数千単位で増えていました。国家と国民に多くの利益をもたらしたにもかかわらず、元中国共産党総書記・江沢民は法輪功の人気の高まりと、何十年も前に党が根絶しようとした、中国の伝統的な教えとその価値観の復興を恐れました。国営メディアは法輪功を中傷するために、プロパガンダ攻撃を始めました。

1999年6月、江沢民は法執行機関、政府、裁判所のあらゆる階級を支配する全国的な超法規的機関であり、法輪功弾圧の陣頭指揮を執る「610弁公室」を設立しました。1999年7月20日、警察は法輪功学習者の徹底的な摘発を行いました。修煉は禁止され、大々的な報道攻撃が始まりました。

それ以来、拷問や肉体的暴行による学習者の死亡者数は計4,400人以上と確認されていますが、実際の死者数は何倍にもなります。さらに臓器狩りという残虐行為により、数えきれないほど多くの学習者が殺害されました。数十万〜数百万もの学習者が不当に逮捕され、拘留され、拷問を受けました。党幹部は家族内に法輪功学習者がいると、愛する家族との敵対を強要し、それにより多くの家族が引き裂かれました。

ヘイト プロパガンダ

法輪功に対する社会の嫌悪を煽る:
- 国務院陳情局の外で、法輪功を学ぶ憲法上の権利のために、1万人の学習者が集まり平和的に訴えました。これに対し、中共は、中央政府の中枢である中南海を「包囲攻撃」したというレッテルを貼りました。
- 中共は、法輪功学習者を名乗る数名が、天安門広場で自分の身体に点火した「焼身自殺」を放映しました。映像にはあらかじめ消火器を用意した警察が映っています。
- 中共は法輪功の修煉により、1,400人の死者が出たとでっち上げました。実際、被害者とされる人々は法輪功を学んだことがなく、実在しない人物さえいました。

迫害への抵抗

国内の法輪功学習者たちは、チラシを配布したり、直接人々と対話をしたり、当局に手紙を書いたり、ポスターを貼ったり、カレンダーや記念品を配布するなどして、人々が中共の嘘と中傷に騙されないように呼びかけています。彼らは、自らの貯金を切り崩してこれらの活動を行っています。

海外の学習者たちは、拷問を停止するよう中国の加害者らに呼びかけ続けてきました。弁護士や他の中国市民もまた、信念のために拘留された学習者を救い出す手助けをしました。中国の法廷では、法輪功学習者の判決は共産党幹部によって事前に決定されており、見せしめの裁判でしかありません。しかし、逮捕され拷問を受けた弁護士がいるにもかかわらず、弁護士らは学習者の無罪を勝ち取るために戦い続けています。

なぜ中共と親密な国ほど深刻な被害を受けたのか?

中共と親密な関係にある国と地域で、非常に多くのウイルス感染者と死者が発生し、苦しんでいることが分かりました。同時に、台湾や香港など中国と地理的に隣接している地域においては、比較的被害が小さいのです。

己の行動のモラルが己の運命を決めるという中国の伝承に基づいて、注目すべきは、被害の大きい地域は少なくとも20年間にわたり人権侵害を無視し、中共当局を経済的に支援することで、法輪功への弾圧を含む中共の残虐行為に加担してきたことです。

スペイン

スペインは1989年の天安門事件の後、外相が北京を訪問した最初のヨーロッパの国でした。その後、欧州連合と協力して対中禁輸を解除しました。スペインはアジアインフラ投資銀行(AIIB)の創立メンバーでもあり、中共の一帯一路(BRI)サミットにも参加しました。テレフォニカのような通信会社はファーウェイとビジネス上の繋がりが強いだけでなく、ラテンアメリカで中共の一帯一路の導入を援助しています。

イタリア

イタリアは一帯一路に署名した唯一のG7加盟国です。オンラインマガジン「フェデラリスト」の論文には、これにより「中国の国有企業にイタリアの4つの主要港湾に出資させるなど、インフラから輸送まで数々の分野の中国投資が始まりました。この取引で、中国共産党はヨーロッパの中心に足場を得た」と記されています。

台湾

当局による香港の自由の侵害を目にし、台湾は中国共産党の全体主義にNOと言うために、中共を支持する総統候補者を拒否しました。中共はウイルスを隠蔽していましたが、台湾は中共への不信感から、流行の初期段階で予防対策を実施しました。人口2,380万人(スペインのおよそ半数、イタリアのおよそ3分の1)の台湾は現時点で、都市封鎖や営業停止、国内旅行の制限をすることなく、感染者数440人、死者数6人にとどまっています。

香港

香港は長い間、中共による全体主義の強要と、英中共同声明のもと、彼らに保障された自由を制限しようとする企てに抵抗してきました。最も注目すべきは、容疑者の中国本土への引き渡しを可能にし、それにより香港市民に中共の司法制度を適用できる法律を制定しようとする北京の圧力に対し、一年以上、集団抗議運動が続いたことです。

イラン

イランは、中国メーカーの同国での新規事業の設立を視野に、中国との戦略的提携を強化してきました。「イランと北京の戦略的提携は、新型コロナウイルスという伝染病を拡散させた潜在的な感染経路の集合体を作りだした」(ウォール・ストリート・ジャーナル 2020年3月11日)

アメリカ合衆国

米国は1970年以来、中共に包括的な支援を行ってきました。米中間の莫大な数の商取引に加え、ニューヨーク証券取引所に多くの中国株が上場するようになりました。ほとんどの米国市民に知られないまま、米国投資信託と年金基金の増加分が、中共に関連する企業と国債に割り振られてきました。これらの金融取引は、当局の財政的及び政治的権力を劇的に強化し、さらに米国のテクノロジー企業は、市民の人権を侵害する中共の検閲と監視機器の構築を支援しました。

中国依存の危険性

ウイルスの流行初期、多くの国々が大量の医療用品を中国に寄付する中、中共は海外に住む在外中国人らに秘密裏に指示を出し、出来るだけ多くの医療用品の購入と中国への輸送を計画しました。

公式データによると1月24日〜2月29日の間で、中国は輸送用ボックス24.6億個分、額にしておよそ1230億円分の防疫用の医療用品を輸入しました。それには20.2億個の防護マスクと、2,538万個の防護服が含まれていました。

ウイルスを封じ込めるために多くの国々が奮闘し、流行が世界的な危機に発展するにつれ、各国は医薬品不足に直面していることに気づきました。これらの製品調達を中国に依存していたため問題はさらに深刻になりました。

米国企業が自分たちの利益を増やすため、サプライチェーンを中国に切り替えた結果、米国は現在、抗生物質の80%以上、解熱鎮痛剤の70%、ヘパリンのおよそ40%を含む、医療に不可欠な多くの薬を中国に依存しています。HIV、癌、うつ病、アルツハイマー、糖尿病、てんかん、パーキンソン病の薬も同様です。

米国を公然と脅す中国共産党

中国国営メディア新華社通信は3月上旬、パンデミックの発生初期段階に、中国から米国への渡航者の入国を制限するため国境閉鎖を決断した米国政府を非難しました。そして、中国は「医療用品の戦略的制御と米国への輸出禁止を適用することもできる。米国は新型コロナウイルス肺炎の感染流行に苦しむだろう」と警告しました。

中共はこの脅しを実行し、製造業者3Mとハネウェルの幹部は米国当局に、中国政府が中国国内で製造したN95人工呼吸器、防護ブーツ、グローブ、その他の個人防護具の輸出を、1月以来停止したと話しました。

医療用品の欠陥

ウイルスに蝕まれた各国は、感染者のために医療用品を確保しようと必死になり、最終的に中国から購入しました。しかし、何百万ものマスクと簡易検査キットは欠陥品で役に立たなかったのです。以下はその一部の例です。

- カナダ：　中国から輸入したおよそ100万個のKN95マスクが連邦品質基準を満たしていなかった
- オランダ：　中国から輸入した130万個のN95マスクの半数近くに欠陥があった
- ドイツ：　連邦運輸大臣は「1100万個のマスクすべてが欠陥品」と説明した
- ベルギー：　中国から輸入した300万個のマスクが品質基準を満たさなかった
- スペイン：　簡易検査キットの検出率はたった30%で、64万個のキットが返却された
- チェコ共和国：　30万個の簡易検査キットうち、最大80%が欠陥品だった
- イスラエル：　中国から輸入した1万個の綿棒検査キットがウイルスに汚染されていた
- 米国：　ワシントン大学医学部によると、何万もの中国から輸入した検査キット、約1300万円分が汚染されていた
- イギリス：　中国から輸入した何百万もの抗体検査キットが、不正確な結果を示した。さらに医師らは、中国から輸入した300個の人工呼吸器が、患者に深刻な危害を与え、死に至る可能性すらあると警告した。

自らの価値観を信じ、中共に「NO」を突きつける

各国政府や民間団体が、損害に対して中国からの補償を求める中、中国共産党の非人道的な犯罪が裏付けられているにもかかわらず、いったい何故、どのようにして多くの国々が中国当局と手を結んだのでしょう。中共と距離をとる事で、自分たちを中共の欺瞞の被害から守ることができます。さらに重要なことは、私たちの基本的な価値観を守り、中共の犯罪の共犯者にならないようにすることです。

例えば、信仰の自由と民主主義を含む米国の建国理念は、中共の独裁主義と無神論イデオロギーとは基本的に異なります。しかしニクソン政権以来、米国は共産主義の脅威に対して警戒を緩めました。1991年12月、旧ソビエト連邦の崩壊後、多くの西洋諸国が、国際貿易や他の経済活動において中国と関わり始めました。

彼らはこのような関係により、中国がもっと人権を擁護するオープンで民主的な社会に変わることを望んでいました。しかし、それは甘い考えだと気づいたのです。中国を変えるはずが、結局は多くの国々が中国とのビジネスを勝ち取るために、自分たちの方針と価値観を妥協しました。その結果、中共は抑圧的で欺瞞的な体制のままにもかかわらず、当局は今や西洋諸国のおかげで、次々と各国の自由と民主主義を脅かし、経済的にも政治的にも大国に成長しました。

この数か月間、国際社会は中共が引き起こした破壊を目撃しただけでなく、当局の血に染まった従来の手法により、多くの国々が新たな犠牲者になりました。

中共の犯罪に加担した国々

1990年代に武漢で生まれ育った屠竜（トゥーロン）は、米国のラジオ放送「ボイス・オブ・アメリカ」のインタビューで「私を含む大半の中国人も無実ではない。中共の指導者が悪事を働くのを見逃し、悪事に加担した者もいる。経済と政治のために中共の残虐行為を黙ってみている西側の指導者らも同罪だ」と述べました。

つまり、中国投資に中共を財政的に支援してきた多くの欧米企業や、当局の検閲や監視技術に貢献してきた企業も同様だということです。これらの企業は事実上、中共による法輪功学習者、他の宗教団体、反体制派、人権擁護者らの迫害に加担したことになります。

未来への展望

悲劇的なことですが、このパンデミックは私たちに、社会と自分自身に向き合う機会を与えました。科学技術の進歩は私たちの生活に革命を起こしました。しかし、沈黙して従うだけではなく独裁国家に挑むために、そして揺らぐことなく道徳的原則を支持するため、私たちは人として、単に財産などの物質的所有物に溺れることなく、道徳的義務に従って行動する必要があるのです。

中国古来の教えから学ぶこと

天と地と人類の調和は、伝統的な中国哲学の根底にある基本的概念です。何千年もの間、災害が襲うと高潔な皇帝たちは、それは人間の行いに対する天からの警告だと捉えて、過ちを正してきました。中には天罰から免れるため、天からの許しを請うて悔い改めの布告を出した皇帝もいました。さらなる大災害を回避することに成功した皇帝とは、自身の責任を負い、自身の短所と向き合い、正しい道に戻るために純粋な欲求に基づいて行動した者達です。

一方、他者に責任を押し付け、自身の治世を維持するために天からの保護を求めるだけの皇帝は、その祈りが叶わないことに気づいたのです。

指導者がこのような基本理念を失うとどうなるでしょう？　現在、中国は自らを省みて人の命を敬うかつての価値観を、総力を上げて破壊した共産党に支配されています。共産党は政治運動によって数千万人を死亡させ、「真・善・忍」の宇宙の基本特性を理念とする法輪功に対して、今なお迫害し続けています。

このような理念の修養を切望する人々が、その信念のために口を封じられ、拷問され、時に殺されるとすれば、不可逆的な道徳の衰退でしかありません。反対に、私たち各々がこれらの前向きな資質を取り戻し、もっと良い人間になろうと努力すれば、次の世代の幸福につながる新しい社会を築くことが出来るでしょう。

明と清の時代の中国皇帝が祭祀を行った「天壇」

“ 他者に責任を押し付け、自分の治世を維持するために天からの保護を求めるだけの皇帝は、その祈りが届かなかったことを知った。

法輪功とは

自己啓発には中国における老子の道教と、インドにおける釈迦の仏教に遡る、豊かな歴史があります。古代の人々は規律ある精神修行を通じて、自身をより高みに押し上げ、苦しみや俗世間の幻想から解放されると信じました。この域に達するには、道徳的に高潔であり、煩悩を断ち切り、心身を改善するために、瞑想とその他の修養を実践することが求められます。

多くの修養を重んじる学校が、各校が提唱している道義に基づいた精神的成長のための流派を立ち上げました。これらの教えは師匠から弟子へ時代を超えて粛々と受け継がれてきました。

法輪功としても知られる法輪大法（ファールンダーファー）はその一つであり、誰でも学ぶことが出来ます。自身を向上させるその中核にある理念は「真・善・忍」に基づいています。

1992年に一般に公開されると間もなく、国中の公園が法輪功の動作を学ぶ人々で溢れました。学習者は人々に動作を無料で教えました。すると人々は、法輪功の学習には健康と精神の両方を向上させる、絶大な効果があることに気づきました。口コミによってすぐに広まり、法輪功はほんの数年で誰もが知る功法になったのです。

法輪功は3つの理念に基づきます

真	善	忍
TRUTHFULNESS	COMPASSION	FORBEARANCE

法輪功がもたらす効果

心身の向上	ストレスと不安からの解放	活力と体力の増強

5つの気功動作

幅広い年齢層の方々に適し、世界中どこでもボランティアから無料で学べます。

1 佛展千手法
体を緩やかに伸ばす動作を通して、体全体の脈を通じさせ、強いエネ ルギー場を作る

2 法輪樁法
4つの姿勢をそれぞれ数分間ずつ保つ。エネル ギーの力を増幅させ、知恵を高める

3 貫通両極法
両手を上下する動きを通じて、宇宙のエネルギーを体内に取り入れて、体を 浄化する

4 法輪周天法
体の前面、背面に沿ってゆっくりと手を動かし、エネルギーを循環させ、体の良くない状態を正す

5 神通加持法
座禅をして手印、手の動作を行う。心身を浄化させ、神通力と功力を加持する

精神の向上

『轉法輪』は、李洪志氏による最も包括的かつ本質的な指導書です。この『轉法輪』を含む李洪志氏による書籍は、40の言語に翻訳されています。これらの書籍は す べ てFalunDafa.orgのサイトで無料で読むことができます。 装丁本をhakudai.jpで購入することもできます。

健康面の効果

数多くの人が、法輪功を通じて「人生 が変わった」「健康になった」「心が楽になった」という体験をしています。このことは、なぜ法輪功の愛好者が急速に増えたかを物語っています。

その他、上質な睡眠、ストレス解消、体力の増強、イライラの低減などなど、数々の効果があります。がんを含む慢性病、糖尿病、肝炎および心臓病が治った、というレポートも数知れません。

さらに、喫煙への衝動がなくなり、タバコやその他の嗜好品 をやめることも可能です。

法輪功を学んでPTSDから解放された

文／米国テキサス州の法輪功学習者

海外の軍事請負企業に勤めていた頃、私はPTSD（心的外傷後ストレス障害）を発症しました。私は正気を保てずおかしくなりそうで、お酒に逃げるようになりました。買い物に行ったときに、私は発作を起こしました。やがて仕事を辞めて、2015年にはテキサスに住む母の家に戻りました。

すると私は、基地が敵に侵略されたり、武装したテロリストに包囲されるような、激しい戦争の悪夢にうなされるようになりました。毎晩、汗だくで何度も夜中に目を覚ましました。酔いつぶれて寝て、それが妄想を引き起こす悪循環になり、夜の暗闇が怖くて仕方がありませんでした。

後に警備の仕事に就いた頃、私はまだ重いPTSDに苦しんでいました。時が経つにつれて、より快適に仕事ができるようにはなったものの、私生活については誰にも話しませんでした。私は暇さえあれば酒を飲むか、タバコを吸っていました。

奇跡の本との出会い

2017年のある日、友人が法輪功の書籍『轉法輪』を送ってきました。いつもなら、私は完全に内容を理解するまで読んでから、次のページに進むのですが、『轉法輪』は難しくて、完全に理解することは出来ませんでした。掘り下げれば掘り下げるほど、深いものでした。それは新鮮で面白い本でした。私はいつも本を読みながらタバコを吸っていました。

ある日『轉法輪』を読みながらタバコを吸おうとすると、煙のせいで吐き気がするのです。翌日、もう一度吸おうとしましたが、気持ち悪くて吸えませんでした。しかし、別の本を読んでみると、吐き気が消えていき、何の問題もなく読書をしながらタバコを吸っていたのです。

『轉法輪』にはこう書かれていました。「タバコをやめたければ必ずやめられます。再びタバコを口にすると、変な味がするにきまっています。この本を読む人でも、この部分を読めば同じ作用があります」

懐疑心を抱きつつ法輪功を実践

本を読み終えると、私は法輪功を30日間実践してみて、本に書いてある通り、道徳心と思考の向上が自分の身体と周囲の環境を変えるというのは本当なのか試してみようと決めました。私は少しの微妙な変化くらいはあるかもしれないと期待していました。しかし、そんな程度ではありませんでした。それ以来、私は戦争の夢を見たり、悪夢にうなされて汗だくで夜中に目を覚ましたりすることはなくなりました。私のPTSDと妄想は、消えるのに少し時間がかかりました。しかし、数か月で完全になくなったのです。

法輪功の気功動作を初めて試す時、始める前にひどい二日酔いによる脱水症状と脱力感、頭痛がありました。しかし気功を終えると、まるで生まれ変わったかのようで、驚きました。私は家中を掃除し、近所を散歩しに行きました。二日酔いだったのに、こんなに気分が良くて、突然エネルギーに満ちるなんて信じられませんでした。

法輪功を学んで一週間後、鏡を見て驚きました。顔が若返っていて、自分の目を疑いました。私は愕然としながら鏡の中の自分を見つめていました。

永続的な効果

私は、法輪功の学習を始めてから約6か月後には飲酒をやめ、その約4か月後には喫煙もやめました。以前に何度も禁煙に失敗してきたのですが、法輪功のおかげで完全にやめることができました。お酒とタバコを最後に触ってからもう2年以上が経ちます。人生でかつて感じたことがないくらい軽快な気分です。

私の妻は10年間ほぼ毎週のように偏頭痛に苦しんでいました。私が法輪功の学習を始めると、妻の偏頭痛は消え、二度と再発しませんでした。それは『轉法輪』に書かれている通りでした。「放出されたエネルギーによって、まわりにいる人々も恩恵を受けることがあります。」妻が法輪功の学習を始めると、痔が小さくなり、視力が完全に回復し、もうメガネをかける必要がなくなりました。

1か月だけ法輪功の学習を試すつもりが、気が付けばもう3年も継続しています。私は完全にPTSDから回復し、自信を取り戻し、その結果、職場ではマネージャー職に昇格しました。何よりも、精神的に得たものが大きく、感謝の気持ちは言葉では表しきれません。

法輪功との出会い
問題を抱えた少年時代から幸福な未来へ

文/中国北京の法輪功学習者・ムーダン

私は12歳からタバコとお酒を始めました。クラスメイトをいじめたりもしました。高校を卒業した後、いろいろな悪事に手を出しました。髪を伸ばし堕落した生活から抜け出せませんでした。

1996年、音楽を習っていた頃、私はクラスメイトとマリファナを吸い始めました。私はまったく勉強に集中できず、やる気を奮い立たせために薬に頼りました。他にも、幻覚、錯覚、妄想、二重人格でした。

ある夜、マリファナを吸ってベッドに横になると、得体のしれない恐怖に襲われました。このままではいけないと、呼びかける声が聞こえたのです。私は泣きそうになりました。私はストレスを抱えていてイライラしていました。家族が生活を変えるように言っても、私は聞きませんでした。

新たな希望

ある日、部屋の片づけをしていると、友人を訪ねた時に見つけたDVDが出てきました。そこには蓮の花が描かれていました。再生してみると、それは法輪功の紹介動画と電子書籍『轉法輪』でした。

私はその本に魅了されました。その本には、より良い人間になるには、より利他的になるには、両親を尊敬するには、というようなことが書かれていました。私は、人生の意味とは、本当の自分に回帰することだと理解するようになりました。「私が探し求めていたものはこれだ」と思いました。それが法輪功との出会いでした。

その三か月後、喫煙と飲酒をやめました。私の悪い生活習慣はすべてなくなりました。私の身体は清められ、気持ちがすっきりしました。私は散髪して身なりを整え、気分が高揚するようになり、幸せに暮らしました。

不屈の精神と迫害

私の両親は中国軍にいたことがあり、法輪功を中傷する中国共産党のプロパガンダに惑わされていました。両親は私に法輪功の学習をやめさせたがりました。ある夜、彼らは私の部屋に入ってきて私を引っ叩きました。私は両親の法輪功に対する間違った認識を嘆きました。彼らは頻繁に私を引っ叩き、叱りつけました。

私が過去にしたことは、家族に対して無責任であったと知りました。例えば、私の両親は、私が音楽をやったり、友人を部屋に招待出来るように、私に大きな部屋を与えてくれました。しかし、彼らは幼い甥っ子と一緒に小さな部屋を使っていました。法輪功を学んでからは、私は大きな部屋を独り占めするのをやめて、両親の家事をよく手伝いました。私は優しく親切な人間になり、人の役に立つことをたくさん行いました。

苦難をやりがいに変える

友人に賃金の安いバーの仕事を紹介されました。私はなりふり構わず、必要とされる所であればどこでも働きました。そのバーはタバコと酒、ドラックで溢れていました。私は騒がしい環境で働いていましたが、心は穏やかで平和でした。

私の日々のシフトは、午後3時から午前4時まででした。タクシーは高額なので、夏は自転車で通勤しました。時に電車で眠ってしまい、乗り過ごしてしまうこともありました。

毎日家に帰ると疲れ切っていましたが、法輪功の第5式の瞑想を1時間行いました。するとすぐに疲労回復します。仕事はきつかったけれど、苦難だとは思いませんでした。

幸運に恵まれる

のちに私は転職しました。新しい上司は経営戦略、営業、経理面で私を信頼してくれました。私は日々の仕事の中で法輪功の「真・善・忍」の理念に従い、私利私欲を重く見ず、顧客への思いやりを持っていました。

私は業績を伸ばし続け、何度か昇給しました。さらに友人もできました。私は悪い考えを持たないので、彼らは私を信用してくれました。のちに私はアパートと車を購入し、結婚し、子供をもうけました。私は妻の家事を手伝い、私たちは喧嘩をしたことはありません。このような人生の変化はすべて、法輪功の学習のおかげです。

1999年7月の法輪功弾圧が始まる前、中国広州で法輪功の気功を実践する人々。横断幕には「法輪功を無料で教えます」と書かれています(Photo: Minghui.org)

MINGHUI.ORGは最新のニュース、経験、迫害を伝える

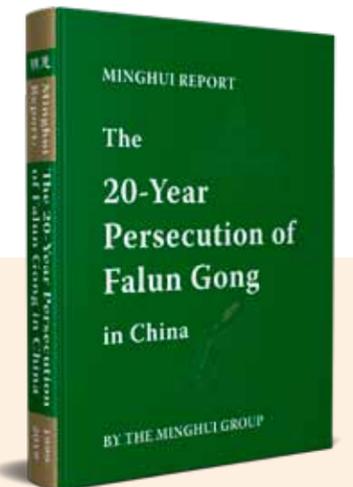
かつては中国の公園が、穏やかな音楽に合わせながら、ゆっくりと緩やかな気功動作をする幅広い年齢の人々で溢れていたことなど、もはや想像できません。国中で、一億人が法輪功を学習していました。しかし、しばらくすると、この平和的な団体は国家の監視下に置かれました。法輪功の基本動作を教えるベストセラー本は禁止されました。かつては法輪功の健康効果を賞賛した新聞やテレビも、法輪功を批判し続けました。誤解を払拭しようとした学習者たちは逮捕され、暴行を受けました。混乱の中、米国の学習者団体は、中国の学習者の身に起きていることを世界に伝えるため、正確な情報を集める必要があると考えました。それが明慧(ミンフイ)ネット(Minghui.org)の始まりです。(明慧とは、明快な見識という意味)

Minghui.orgとは

- 法輪功の修煉により、健康を取り戻した学習者の実体験
- 人間関係の悩みにおいて、自分の内面と向き合う学習者の心を動かすストーリー
- 中国で続いている法輪功の迫害について
- パンデミックや様々な出来事についての学習者の見解

寄付のお願い

明慧ネットは学習者のネットワークで、中国における法輪功の迫害に関して、信頼ある情報を伝える唯一の機関です。私たちは21年間毎日活動し、中国と世界中で何百万人もの人々に恩恵をもたらしました。mhpublishing.orgで書籍や出版物を入手し、寄付をすることが出来ます。

本書(『明慧報告書』)は、中国における法輪功の迫害に関して、伝聞ではなく当事者による包括的な真実が語られています。この画期的な本は、法輪功学習者が中国で直面している残虐行為と、中共が世界中の政界、市民、企業リーダーに経済的圧力と脅迫を加え、世界規模で行っている拡大運動をを取り上げています。TiantiBooks.orgで購入することが出来ます。

ファールンゴン
法輪功は
ファールン ダーファー
法輪大法
とも呼ばれます

MINGHUI INTERNATIONAL 明慧

20か国語に対応

JP.Minghui.org

歴史、ニュース、法輪功学習者の経験などをお伝えします

法輪功を学ぶには

法輪功のレッスンは無料で受けることができます。始めるのはとても簡単です。

80ヵ国の主要都市に、数百もの気功教室があります。

法輪功に、会員名簿はありません。参加を強要されるものは何もありません。献金や公開イベントでの参加費を要求することもありません。

動作を学ぶ

学習者が、各地にある気功教室で動作をお教えします。ビデオをオンラインで入手できます。

本を読む

『轉法輪』は法輪功の主要な書籍です。 または、入門者向けの内容の『法輪功』から学習を始めて下さい。無料版をオンラインで読むか、書籍をご購入ください。

セミナーに参加する

動作を学び、9日間のビデオ講義を連続して見ます。セミナーは、主要都市で定期的に開催されています。参加無料です。

真・善・忍があなたにもたらすものを見つけてください。